



運動会で子どもたちが成長しました

運動会を5月25日（日）に行いました。24日（土）に実施予定でしたが、雨のため延期となり、この日の開催となりました。当日の朝、小雨が降ったので、30分開会を遅らせての実施となりました。7時半頃、傘をさして登校する子どもたちは、「校長先生、運動会できるんですか？」と不安気でしたが、8時40分頃、子どもたちが運動場に集合し始めた頃には雨は上がり、子どもたちは運動会モードに切り替わっていました。この日に運動会ができたのは、早朝からテントの設営や運動場整備にお手伝いいただいた保護者、地域の皆様のおかげです。本当に、ありがとうございました。



今年度、子どもたちが代表委員会で決めたスローガンは、「友情魂みせてやる
151年目の新時代 仲間と未来へ走り出せ」でした。

協力をしながら、一つの目標に向かって頑張っていこうとする強い意志を、このスローガンから感じました。ですから、開会式の際に、私は子どもたちに「競技・応援・係を一生懸命頑張りましょう」と伝えました。



応援合戦は、ミカジロー、イヨミ、キウイの順で行い、一体感のある応援が見られました。毎年行っている応援合戦ですが、同じ内容はありません。それぞれのグループで工夫をしていることがすばらしいと思います。競技中も、応援係を中心に、声援を送っていました。



1年生は、初めての運動会。入学してまだ1か月半ではありますが、集団行動ができるようになっていました。一生懸命、走ったりダンスをしたりしていました。



2年生は、団体種目でみこしの上の箱を落とさないように運んでいました。みこしを持つ高さや運ぶスピードをそろえながら、慎重かつ迅速に動かなければなりません。協力しながら競技に取り組みました。



3年生は、二人組で頑張った団体種目の後に、表現種目を行いました。表現の中に自分の好きなポーズや動きを取り入れていました。同じ動きがそろって美



しさだけでなく、それぞれがアピールする楽しさも表現されていました。

4年生の団体種目は、棒を使った旋回。内と外との呼吸を合わせなければなりませんし、遠心力で振られるので力も要ります。2年生の団体種目とはまた違った協力が必要なのですが、どのクラスも練習の成果が見られました。

5年生の表現種目では、旗を使って大きな動きを見せていました。旗が風を切る音に一体感も感じられました。走る姿には力強さが伝わってくるようになり、高学年らしさが出てきたようです。

6年生は、何をするにも迫力が感じられました。団体種目で綱を奪い合ったり、リレーで最後まで競り合ったりする姿が見られました。運動会でのソーラン節は、潮見の伝統とも言え、6年生以外の子どもたちも踊っていました。力強い動きと声が大変印象的でした。6年生の表現種目のときには、晴れ間も見られましたので、潮見っ子の力を天気も感じたのかもしれませんが。

5、6年生の係の活動もよく頑張っていました。30分遅れの開会でしたが、予定していた時刻よりも少し早めに終わることができました。一人一人が責任感をもって取り組んだことが、スムーズな進行に大きく影響したと思います。下学年の潮見っ子に、運動会を支えている高学年の姿が目に入ったはずです。高学年になったら、運動会でこんな係をしたいと思わせるような活躍ぶりでした。

運動会の目的は、勝敗ではありません。でも、キウイグループの優勝の発表があった瞬間、団長が跳び上がるほど喜んでいるのを見ると、運動会への子どもたちの思いも感じられます。運動会は一人ではできません。みんながいてこそこの学校行事です。運動会は「学校っていいよね!」と思えるものの一つではないかと思います。雨の影響で、保護者の皆様にはご心配をお掛けいたしました。子どもたちへのご声援、さらには後片付け、ありがとうございました。

今回の運動会では、学年によっては事前にお伝えしていた内容と異なる部分がありました。また、ケーブルテレビの放送についても、都合でなくなりました。大変申し訳ありませんでした。

